

# 油津(宮崎) ポートガイド

## Aburatsu Port Guide

### ●油津(宮崎)

#### 観光情報は、こちら!

日南市観光協会  
電話0987-31-1134  
<http://www.kankou-nichinan.jp/>

#### 船舶代理店

日本通運株式会社 日南支店 海運課  
電話0987-23-2148



日南海岸「鶴戸神宮」

東側に日向灘を臨み、黒潮の恵みを受けて1年中温暖な気候の宮崎県日南市。「鬼の洗濯板」と呼ばれる波状の奇岩に代表される風光明媚な海岸線は、全国有数のリアス式海岸として日南海岸国定公園の指定を受けています。

この日南海岸には、日向神話の海幸山幸の舞台として知られる鶴戸神宮が立地し、古来より日向国内外の厚い信仰を受け、現在でも、安産・育児や縁結びのパワースポットとして信仰を受けつつ、断崖の洞窟内に朱塗りの本殿が建つという珍しい立地から、本市を代表する観光スポットとして多くの観光客を集めています。

また、日南海岸の小高い丘の上に位置するサンメッセ日南には、世界で初めてイースター島の長老会から正式な許可を受け、学術的な精密さをもって再現された高さ5.5mにも及ぶモアイ像7体が立ち、見事に青い海と調和しています。

さらに、本市の飫肥地区については、1588年(天正16年)から明治初期までの280年間、飫肥藩と

して伊東家が5万1千石の城下町を治めており、武家屋敷を象徴する門構え、風情ある石垣・漆喰塀など往時を偲ぶ歴史的景観は、九州初の伝統的建造物群保存地区に選定され、鶴戸神宮に次ぐ主要な観光地となっております。

なお、飫肥藩は、江戸時代後期から飫肥杉による造林事業を推進し、木造船の材料として油津港から出荷していました。運搬を効率的に行うため1686年に掘削された堀川運河を始めとするこの地域は、多層的な歴史・文化を反映する街並みや運河の景観が観光資源として活用され、寅さんシリーズのロケ地としても知られています。

春には1万本の桜や日本一のジャカラランダの群生地が花を咲かせ、夏は油津港まつりの花火大会、秋は飫肥城下まつり、冬はプロスポーツキャンプと四季を通して「にちなん路」が賑わいます。美しい海と自然、風情ある町並みが歴史を感じさせる宮崎県日南市。ぜひ体験してください。

## ① 堀川運河



### 堀川運河と石橋と寅さん

広渡川河口から油津港を結ぶ「堀川運河」は、飢肥藩が飢肥杉の運搬を効率的に行うためにつくられた運河です。1686年に飢肥藩主伊東祐実(すげざね)の命により28ヶ月の歳月をかけ完成しました。

当時の難工事を伝えるエピソードとして、運河を通すには50mもの岩盤を掘削する必要があり、工事を命じられた奉行は、運河掘削を断念しようとしたが、祐実は「やってないうちから弱音を吐いては恥ずかしいことだ。何年かかってやり通せ。」と叱咤激励したと伝えられています。その祐実の強い意志が油津港発展の礎となりました。

1992年には、堀川運河に架かる堀川橋を舞台に「男はつらいよ寅次郎の青春」が撮影されました。「ちやっぷん ちやっぷん」という川の流れを聞くと髪結いの亭主におさまった寅さんの笑顔が思い出されます。

## ② 堀川資料館



### 飢肥杉造りの情緒的な資料館

堀川沿いに、一見民家と間違えてしまう

ような飢肥杉造りの情緒的な堀川資料館が建っています。

館内には、各種観光パンフレットがあり、2階には、堀川橋周辺で撮影された映画「男はつらいよ～寅次郎の青春」の写真や出演者のサイン、シリーズポスター等が展示されています。

また、2階ベランダからは美しい堀川の眺めを楽しめます。

## ③ 杉村金物本店



### 昭和当時の金物や船具等が並ぶレトロな雰囲気のお店

1932年(昭和7年)に、油津港に通じる国道220号線に面した角地に杉村金物本店があります。

木造3階の建物は1階が店舗、2・3階が住居です。裏には煉瓦造3階建ての倉庫があります。縦長の窓や銅板張りの外壁は洋風の意匠を取り込んだ建物となっています。

店内では今も昭和当時の金物や船具等が並ぶレトロな雰囲気のお店です。

## ④ 油津赤レンガ館



### 3,000万円を堀川に捨てた男達身銭をはたいて守ったものは

1922年(大正11年)油津の豪商河野宗四郎の四男宗

人が建造したレンガ造りの蔵で、飢肥杉とマグロで栄えた油津の繁栄を物語る歴史的建造物です。

しかし、所有者が手放すことになって保存が危ぶまれたため、市民31人による文化財建造物の買い取り保存が、1997年に実現され、1998年には国登録有形文化財に登録されました。

現在、「油津赤レンガ館」は市へ寄付され、老朽化した建物は2007年から町並みの大規模な修景事業で生まれ変わり、歴史ガイド機能と休憩スペースとして活用されつつ歴史的景観を今に伝えています。

## ⑤ 飢肥城下町



### 伊東家5万1千石の城下町

飢肥は、1588年(天正16年)から明治初期までの280年間飢肥藩・伊東氏5万1千石の城下町として栄えたところです。武家屋敷を象徴する門構え、風情ある石垣、漆喰塀が残る町並みは、1977年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

1978年に復元された大手門を中心に、松尾の丸や藩校振徳堂、伊東家の歴史を綴る貴重な資料が展示されている飢肥城歴史資料館があります。また、商人町通りには樽を店頭にした商家や、格子に壁燈籠、番傘を飾った商家が軒を連ね、町を流れる堀割の清流など、江戸時代を彷彿とさせる町並みが楽しめます。

## 足を延ばして.....



## ⑥ 鵜戸神宮

### 「鵜戸さん」と親しみを込めて呼ばれる宮崎県南で最も有名な神社

太平洋に突き出した鵜戸崎岬の先端にある洞窟の中に、朱塗りの色鮮やかな御本殿がご鎮座する珍しいものです。

岬のまわりには奇岩、怪礁が連なり太平洋の荒波が打ち寄せて、美しい景勝地となっています。

また、男性は左手、女性は右手で願いを込めながら運玉を投げ、亀石と呼ばれる岩の枡形に入れば願いが叶うといわれています。

ぜひ一度、運を占ってください。



## ⑦ サンメッセ日南

### 『太陽からのメッセージを受けて地球に許される生き方に気づく』

日南海岸の小高い丘の上に位置する「サンメッセ日南」。ここには世界七不思議のひとつに上げられているモアイ像があります。高さ5.5mにも及ぶ完全復刻されたイースター島のモアイ像7体が立つ景観は見事に青い海と調和されています。

右から2番目のモアイ像を触ると金運、左から3番目は恋愛運が上昇するといわれています。

## 港までの所要時間

「油津駅」より

■ 徒歩で約45分、車で約8分

## 埠頭所在地

〒887-0015 宮崎県日南市大字平野字大節8338番地41



油津港

油津

(宮崎)

おすすめグルメ・特産品ガイド

周囲を山と海に囲まれた自然溢れる宮崎県日南市。黒潮の恵みや山野の食材を活かした風味抜群の郷土料理が魅力です。魚介類や柑橘類、畜産物、焼酎などの食材だけでなく、スイートピーなどの花卉類のほか、スケッチブック、飫肥杉の工芸品なども人気です。



### 魚うどん

戦時中、主食が不足していた頃、代用食として魚で工夫してうどんを作っていました。戦後、平和の中ですっかり忘れられていた懐かしい味を再現してみたところ、お年寄りにも若い人にも大変好評です。行事がある毎にたくさんの人に親しまれています。低カロリー・高タンパクでDHAが豊富なヘルシー料理です。しかも煮込んでものびたり煮崩れせず、ダシが出る優れたものです。テレビの健康番組でも取り上げられて、血管の若返りに効果があると話題に。ぜひ、ご賞味ください。



### 新・ご当地グルメ 日南一本釣りがツオ炙り重!

日南市はカツオ一本釣りの水揚げ量が日本一です。その新鮮なカツオを「炙って」食べる贅沢なメニューが誕生しました。

料金は、全店1,300円で、市内11店舗で味わえます。各店オリジナルの2種類の漬けカツオを七輪で炙って、重箱に盛られたご飯に載せていただきます。



### 飫肥杉製品

obisugi design - 日南市から発信する飫肥杉プロダクト -

飫肥藩の時代から400年の歴史を持つ飫肥林業の中心として知られている日南市。この地で生産される飫肥杉は、油分が多く弾力性のある特長から良質な造船材として取引され、最盛期には国内はもちろん、韓国や中国にも大量に輸出されるなど、かつては市の経済を潤し活力を与える源となっていました。

しかし、昭和の後半に木造船の需要がなくなると飫肥林業は急速に衰退し、現在では先人達が残した広大な飫肥杉の山々は残るものの、かつて飫肥杉で発展し賑わったまちは、遠い昔になりつつあります。

そうしたなか、2009年には、飫肥杉製家具や小物の開発・販売を通じた飫肥杉のPRを図るため、官民連携の「日南飫肥杉デザイン会」が誕生しました。会では民間と行政がそれぞれの強みを生かしながら、林業の枠にとらわれることなく、おおらかで素朴な飫肥杉の性質をそのまま生かした製品を作り、飫肥杉材の良さを全国に発信しております。